

環境だより

地球温暖化対策版第11号

発行日：平成24年2月15日

発行元：役場住民課

～猿払村地球温暖化対策地域協議会活動報告～

平成23年度第4回地域協議会を平成24年1月25日に開催しました。

【主な取り組み及び会議内容等について、お知らせいたします。】

①平成24年度取組事業の骨格固まる

『新規事業1』

- 地球温暖化防止に関する
猿払村助成制度化検討会

環境負荷の少ない省エネルギー機器等の導入者（住民、事業所）に対する村独自の助成制度について検討します。

『新規事業2』

- バイオガスプラント導入検討会

CO₂排出量の削減や牛ふん尿から発生する臭気問題の解消を図るため、牛ふん尿を活用したバイオマスエネルギーについて検討します。

『継続事業』

- エコ診断（省エネ）事業
- 標語募集事業
- マイカー通勤/エコ運転啓発事業

※新規事業も含め、事業の詳細につきましては、平成24年度第1回猿払村地球温暖化対策地域協議会の開催後にお知らせいたします。

②平成23年度エコ診断（省エネ）事業の実施

『公募により申込のあった一般家庭や事業所を対象に「エコ」にも「家計（事業費）」にもプラスになる省エネ診断を下記のとおり実施しました。』

実施期間：平成23年7月下旬～平成23年9月上旬

- 診断結果から見た共通点

【一般家庭】

- ・電気使用量や灯油使用量が特に多い。
対策：冷蔵庫の温度調整や冬場の厚着による対応。また、故障や更新時に合わせ、省エネ機器の交換などをお勧めします。

【事業所】

- ・動力に係る電気使用量や化石燃料が多い。
対策：設備投資には多額の経費が掛かりますが、故障や更新時に合わせるなど、計画的な省エネ機器の交換をお勧めします。

●家(ウチ)エコ診断

- ①応募数 4戸(一般家庭)
 ②診断結果 CO₂も経費も 約40%削減可能

猿払ECO
 CO₂-10%
 チャレンジ

	助言して欲しい内容	診断後の受診者の声
A宅	使用エネルギー及びCO ₂ 排出量の把握と経済的な視点を盛り込んだ診断	○大幅な省エネをしていることが、設備の設置状況から改めて判った。これからは、設備に頼らず日々の省エネに取り組みたい。
B宅		診断後の受診者の声 ①普段から省エネ対策が十分出来ていると診断された。 ②今後の対策としては、白熱電球を更新時に合わせ省エネタイプ照明器具との交換を検討したい。また、今まで通りのこまめな取り組みで、CO ₂ 排出量の削減を図って行きたい。
C宅		診断後の受診者の声 ①エネルギー量やCO ₂ 排出量について、改めて確認できた。エネルギーの使用は、電気・灯油が特に多くみられた。 ②冷蔵庫3台(内、フリーザー)の温度調整や冬期間の厚着対策などの取り組みを通して、CO ₂ 排出量の削減を図って行きたい。
D宅		診断後の受診者の声 ①太陽光発電を導入し、オール電化住宅に住んでいることから、電気使用量の削減がテーマとなる。 ②今後は、白熱電球や冷蔵庫等について、更新時に省エネタイプの導入を検討したい。また、身近で出来る省エネ行動を行って行きたい。

受診者からのコメントです。

●事業所版エコ診断

- ①応募数 3事業所(加工場・酪農業)
 ②診断結果 CO₂も経費も 約25%削減可能

省エネは、
 『まめに、こまめに』
 取り組みましょう。

	助言して欲しい内容	診断後の受診者の声
A社	施設に係るエネルギーの削減及び二酸化炭素の削減	○数値でデータの確認できるため、今後の施設整備の参考としたい。
	牛のふん尿の有効利用	○バイオガスから高効率の電気エネルギーに変換するシステムについて、報告を受けた。非常に興味があるため、今後も再生エネルギーの利活用に向けた情報収集を行いたい。
B社	施設に係るエネルギーの削減及び二酸化炭素の削減	○数値での実態把握が出来たため、今後の省エネへの取り組みの目安が出来た。
	技術的、経済的な視点を盛り込んだ診断	○診断書を基に実施した場合の施設設備等に係る経費等を積算し、CO ₂ 排出量の削減やコスト削減を含め検討したい。
C社	施設に係るエネルギーの削減及び二酸化炭素の削減	○実態把握が出来たことから、今後の施設整備更新時等の参考としたい。省エネに努めていきたい。
	技術的、経済的な視点を盛り込んだ診断	○高圧受電設備の一元化により、CO ₂ 排出量の削減やコスト削減に繋がる旨、診断を受けた。今後検討して行きたい。